

高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022 北海道 ブロックリーグ道央（1部）開催要項

2022/3/19

1. 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第2種加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
2. 名 称 高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022 北海道 ブロックリーグ道央（1部）
3. 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会
4. 主 管 高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022 北海道 ブロックリーグ道央実行委員会
千歳地区サッカー協会・同2種委員会
小樽地区サッカー協会・同2種委員会
空知地区サッカー協会・同2種委員会
北空知地区サッカー協会・同2種委員会
5. 後 援 公益財団法人 日本サッカー協会
北海道
北海道教育委員会
公益財団法人 北海道スポーツ協会
北海道高等学校体育連盟
北広島市教育委員会
6. 期 日 【前期】第1節 4月16日（土）17日（日） 第2節 4月23日（土）24日（日） 第3節 5月5日（木祝）
第4節 5月7日（土）8日（日） 第5節 6月4日（土）5日（日）
第6節 6月11日（土）12日（日） 第7節 6月25日（土）26日（日）
【後期】第8節 7月16日（土） 第9節 7月18日（月祝） 第10節 7月23日（土）24日（日）
第11節 7月30日（土）31日（日） 第12節 9月10日（土）11日（日） 第13節 9月17日（土）
第14節 9月19日（月祝）
7. 会 場 千歳市青葉公園サッカー場 きたひろサンパーク 芦別なまこ山総合運動公園
小樽市望洋サッカー・ラグビー場 岩見沢市岡山スポーツフィールド
岩見沢東山公園陸上競技場 滝川河川敷サッカー場 各高校グラウンド他
8. 参 加 資 格 (1) （公財）日本サッカー協会に第2種登録した加盟チームもしくは準加盟チームであること。
(2) (1)項のチームに各節までに登録された選手であること。
(3) （公財）日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第3種年代とし、第2種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。また、上記(1)で登録したチームの、第2種登録した女子については、参加することができる。
(4) 高等学校チームにおいては、学校長及び当該サッカー協会長の出場承認を受けたチームとする。その他のチームにおいては、学校もしくは組織を代表する者及び当該サッカー協会長の承認を受けたチームとする。
(5) 連日の試合に耐えうる健康体であること。
9. 参 加 チーム 北海道滝川西高等学校 北照高等学校 文教大附属高等学校
北海道北広島高等学校 北海道恵庭南高等学校 北海道北広島西高等学校
札幌日大高等学校 北海道千歳高等学校 8チーム
10. 競 技 規 則 (1) 2022年度（公財）日本サッカー協会制定の「競技規則」による。
(2) 協会登録選手の中から各節ごとに20名の選手を登録できる。
(3) 選手交代は競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から5名までとする。
(4) 後半の選手交代は3回以内とする。（人数の制限は特に制限しない）
(5) リーグ戦で3度の警告を受けた者は、次の試合に出場できない。但し、この規定はこのリーグのみの停止とする。
(6) 退場処分を受けた者は、自動的に次節の出場停止処分を受ける。その後の処置については、各地区2種委員長で構成する大会規律委員会が決定する。
11. 競 技 方 法 (1) 8チームによるリーグ戦方式（2回戦総当たり）とする。
(2) 試合時間は90分（ハーフタイムのインターバルは15分）とする。
(3) 順位の決定は次の順序により決定する。

- ①勝ち点（勝3点、引分1点、負0点） ②得失点差 ③総得点 ④該当チーム間の対戦成績
⑤同得失点差 ⑥同総得点 ⑦抽選

※7節終了で今大会は成立。その後、感染症で消化しきれない試合があり、全チームの試合数が異なる場合は、実行委員会の判断のもと、勝点平均（総勝点÷試合数）で決定する場合がある。ただし、勝点平均が同一の場合は、次の各項の順序にて順位を決定する。

- ①当該チーム間の対戦成績（イ.勝点 ロ.得失点差 ハ.総得点数） ②1試合あたりの得点数
③1試合あたりの失点数 ④抽選 最大延長は9月25日（日）とする。

12. 参加申込

- (1) 参加申込書に登録できる人数は、引率教員もしくはチーム責任者1名、監督1名、スタッフ3名、マネージャー2名とし、選手の登録人数は制限しない。
(2) 参加チームは参加申込書（登録選手・チームエントリー）を申込期日までにメールで申し込むこと。また、参加料 119,000円を現金書留で申込期日までに下記に送付すること。または、銀行口座へ入金をする（入金後メールして下さい）。

〒061-1105 北広島市西の里東3丁目3-3 北海道北広島西高等学校内

高円宮杯U-18サッカーリーグ2022北海道ブロックリーグ道央担当事務局

五十嵐 潤 宛

T E L 011-375-2771

m a i l kitahiroshimanishi-z4@hokkaido-c.ed.jp

口 座 ゆうちょう銀行（銀行コード：9900）九〇八店

（店番号）908（普通預金口座番号）4405394

千歳地区サッカー協会2種委員会（トビサッカークォウカイニシユイカイ）

- (3) 申込期日 2022年4月8日（金）17時厳守
(4) 選手の（公財）北海道サッカー協会への追加登録は、各節の7日前までに完了すること。
ア チームの指導者は（公財）日本サッカー協会 WEB 登録、移籍手続きをし、所属地区協会に登録料を支払う。
イ 各地区協会は（公財）日本サッカー協会 WEB 登録、移籍手続きをし、（公財）北海道サッカー協会に登録料を支払う。
ウ （公財）北海道サッカー協会は（公財）日本サッカー協会に登録・移籍申請手続きをする。

13. 監督会議 および抽選会

日時：2022年3月19日（土）14：00～

場所：北海道北広島西高等学校会議室

14. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申し込みの際に記載し、各試合に必ず携行すること。
(2) ユニフォームの色は参加申し込み以後の変更は認めない。
(3) ユニフォームへの広告表示については、（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、（公財）全国高等学校体育連盟加盟チームは、連盟規定により、チーム役員も含めユニフォームなどの衣類に広告表示することは認めない。
(4) ソックステープ等の色は問わない。
(5) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。
(6) ユニフォームの組み合わせについて ①対戦するチームのユニフォームの色彩が判別し難い場合、主審は、いずれのチームがピブス等を着用することを決定する。 ②ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる（ピブス等も可）。 ③ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でもよい。
(7) その他の事項については、（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に従うものとする。

15. その他

- (1) 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、（公財）日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(2) 参加チームは、傷害保険に加入し、大会での傷害に対応すること。
(3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本リーグ実行委員会、主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(4) 参加申し込み後の棄権は一切認めない。やむを得ない事情で本大会に参加不可能になった場合は、ただちに本大会事務局を通じて（公財）北海道サッカー協会に通知するとともに、文書にて理由書を提出する。その処置については大会規律委員会にて決定する。なお、棄権したチームの試合結果は全て抹消する。また、一方のチームの事由によって試合の実施ができなかった場合については、ただちに本大会事務局に通知するとともに、文書にて理由書を提出する。その処置については大会規律委員会にて（公財）日本サッカー協会「懲罰規程」に基づき決定する。
(5) 本大会要項に規定されていない事項については各地区2種委員長（高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022北海道ブロックリーグ道央実行委員会）、道2種委員長、ユースダイレクターの6名で協議の上決定する。
(6) 本競技会は、大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者

など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。

- (7) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会実施委員会において協議の上、対処する。

- 16. 付 則 本リーグの運営を円滑にするために実行委員会を置き、業務を遂行する。なお、実行委員会は各地区2種委員長の4名で構成する。大会事務局は2年持ち回りとし、2020・2021 空知、2022・2023 千歳、2024・2025 小樽、2026・2027 北空知の2種委員長が責任者として行う。